2026年7月1日現在
武蔵大学グローバル教育センター

2025年度海外派遣成果の公表

対象	プログラム名	参加者数	派遣先		派遣期間	派遣目的及び派遣事業内容	評価方法	認定単位数
全学部	協定留学	30名	イギリス アメリカ カナダ オーストラリア オランダ 韓国 台湾 中国 シンガポール	ケント大学、オハイオ大学、ノーザン・ケンタッキー大学、オカナガン大学、ブリティッシュ・コロンビア大学、ディーキン大学、サザンクロス大学、フォンティス応用科学大学、高麗大学校、延世大学校、国立政治大学、西安外国語大学、Singapore Institute of Management	1学期または1年間	協定留学では、語学力に応じて、MainstreamまたはPathwayどちらかのコースを選択することができる。Mainstreamでは現地の学生と同様に大学の正規授業を履修し、Pathwayでは留学前半に語学力やアカデミックスキルを伸ばすためのプログラムに参加し、後半で大学の正規授業を履修する。 留学前に①学業、②人との関わり、③国・地域・人の研究、④キャリア形成に向けた活動、⑤成長に向けた取り組みについて目標を設定し、留学中は毎月月末に目標達成に向けた取り組みや円滑に留学生活が送れているかどうか等の状況を「月例報告書」という形で報告する。留学終了後は総括シートの提出を義務付けることで、学生の内面の成果も把握する。	留学先大学での成績証明書原本及び授業の詳細が分かる資料(教科書、ノート、課題、シラバス、授業で配付された資料等)を基に、審査の上で単位認定を行う。	1学期留学者:12~20単位 1年間留学者:14~48単位 ※2026年7月現在、一部未認定者あり
全学部	外国語現地実習	62名	イギリス オーストラリア フィリピン ドイツ フランス 韓国 台湾	ケント大学、ディーキン大学、SMEAG、マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク、CDC、トゥレーヌ学院、高麗大学校、国立台湾師範大学	3~5週間	夏季休暇および春季休暇を利用して、海外の協定校で実施される語学力向上を目的とする語学の集中授業である。武蔵大学で履修登録を行い、プログラム修了後、所定の提出物の審査をもって武蔵大学の単位として認定される。原則として参加に語学基準はなく、初級者から上級者まで参加できる。語学講座のプログラムに基づき、会話力、読解力、作文能力を着実に向上させる。また、留学先での生活を通して、現地の文化慣習、現代事情や地誌についての理解を深める。	渡航前オリエンテーションや事前授業に出席の上、実習校から発行される修了証およびアンケート・レポート等を基に、審査の上で単位認定を行う。	2単位
全学部	Global Service Learning	11名	アメリカ ネパール ベトナム	現地団体等での実習	2~4週間	Global Service Learning はグローバル市民としての意識を強く持ち、グローバルな活動への積極性を高めることを目的としている。ボランティア活動・社会奉仕活動・インターンシップ・フィールドワークなどの社会的活動と、活動後のレポート作成または口頭発表を組み合わせた体験型の実習科目。	事前・事後授業に出席の上、現地での活動、報告会の内容を基に、単位認定を行う。	1または2単位
全学部	海外フィールド実習 The 2026 Musashi-OP Jindal BRIDGE Program	6名	インド	O.P. ジンダル・グローバル大学	11日間	冬季集中授業および春季休業期間を利用して、協定校O.P. ジンダル・グローバル大学に教員引率の元、学生を派遣するプログラムである。本プログラムは、Advocacy(社会的提言)、Engagement(社会参加)、そしてSustainability(持続可能性)といったテーマを学生が探求することを目的とする。 協定校での座学のセッション、本学教員によるワークショップ、参加学生によるプレゼンテーションや、インド文化を体験する課外活動を実施。参加者は、異文化の環境で「持続可能な開発」(SDGs)について深い知見を得るとともに、リーダーシップスキルを磨き、社会奉仕を実践的に学ぶことを目標とする。	渡航前オリエンテーションおよび事前授業への出席に加え、渡航中のレポート、ディスカッションや活動への主体的な参加度、帰国後の活動報告やプレゼンテーション等の内容を総合的に審査し、単位認定を行う。	1単位
全学部	Global Internship	5名	アメリカ ベトナム	現地企業等でのインターンシップ	4週間	海外での就労体験を通して、実務能力を高めるとともに、国際的視野を広げてグローバル社会に対応できる力を身につけることを目的とする。多種多様な業界の中から、自身の興味や関心に応じてインターンシップ先を選定し、相談を経て派遣先が決定される。そこで実際にインターンシップに参加し、業界や職種への理解を深める。	ー	ー
経済学部	海外インターンシップ	13名	カンボジア	現地でのインターンシップ・プログラム	17日間	海外で実践するインターンシップ・プログラムに参加し、参加者・現地協力者と協働して与えられた課題を解決することで、国際貢献と海外ビジネスを体験できる。インターンシップ・プログラムの参加前には事前学習を行い、インターンシップの準備として現地の情報を収集・報告する。また、プログラム参加後には報告会(個別プレゼンテーション)および全体討議を行い、インターンシップ体験を振り返るとともに、今後の大学における学修計画や卒業後の進路について考える。	事前授業に出席の上、海外インターンシップ中の取り組み、活動内容、報告会の内容を基に、単位認定を行う。	1単位
社会学部 グローバル・データサイエンス(GDS)コース所属	GDS 海外英語研修	16名	フィリピン	SMEAG	6週間	春学期Spring2の期間を利用し、GDSコース所属の1年次生を対象に、英語能力の向上を目的とする海外で行う語学の集中授業である。秋学期以降の英語での講義受講や、協定留学への参加を見据え、IELTS5.5の取得を目指す。	渡航前オリエンテーションや事前授業に出席の上、実習校から発行される修了証およびアンケート・レポート、IELTSの結果をもって、担当教員による成績付け、単位認定を行う。	6単位
社会学部 グローバル・データサイエンス(GDS)コース所属	GDS実践	2名	アメリカ ベトナム	現地企業等でのインターンシップ	4週間	これまで大学で学んできた知識や方法論が社会でどのように活用されるのかを理解するため、学外で実践的な活動に取り組む。特に、GDSコースで集中的に学んできた英語によるコミュニケーションスキルや、社会調査、データ分析等のデータサイエンス・スキルを活かした活動を通じて、グローバルに活躍できる実践力を身につけることを目的としている。本活動では、国際ボランティアや海外インターンシップに参加する。	計画書・報告書の内容および実践への取り組み、実践活動の難易度を含めて総合的に評価する。	2単位
国際教養学部国際教養学科 経済・経営学専攻	IELTS対策英語研修(Spring 2)	12名	フィリピン	SMEAG	6週間	春学期Spring2の期間を利用して、国際教養学部国際教養学科経済・経営学専攻所属の1年次生を対象に、英語能力の向上を目的とする海外で行う語学の集中授業である。学生は国内もしくは国外の英語研修先を選ぶことができる。海外研修を選ぶ学生は、SMEAG(フィリピン セブ島)において6週間実施される短期語学研修に参加し、ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)履修に必要なIELTSオーバーオール5.5以上(各項目5.0以上)を取得することを目標とする。	渡航前オリエンテーションに出席の上、実習校から発行される修了証およびアンケート・レポート、IELTSの結果をもって、担当教員による成績付け、単位認定を行う。	4単位
国際教養学部国際教養学科 経済・経営学専攻	LSE Summer School	4名	イギリス	The London School of Economics and Political Science(LSE)	3または6週間	経済学分野で世界トップクラスの評価を受けるLSEで学ぶプログラム。6月~8月に世界中から集まる優秀な学生とともに、LSE教員の指導のもとで学ぶ。海外大学院への進学など、将来の可能性を広げることにもつながる。	ー	ー
国際教養学部国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	Capstone Project	1名	アメリカ	実地調査	7日間	本専攻における学修の総まとめとして、4年次に1年間かけて取り組む必修科目の「Capstone Project(4単位)」がある。その具体的な準備作業は3年次秋学期から開始し、各自が設定した独自のテーマに基づき、国内外での実地調査を行う。「Capstone Project」は、グローバルスタディーズという学際的な学問分野の特性を活かし、多様性に富んだ研究となるよう設計されたプロジェクトである。なお、国内外での調査活動自体に対する単位付与はない。	ー	ー